



全日本複合チームの主戦として世界と戦う加藤大平選手

大平 全日本名寄合宿 全日本名寄大会5位

全日本ノルディック複合チーム名寄合宿

本町出身、ノルディック複合競技でソチオリンピック日本代表の加藤大平選手(32)が名寄入りだ！
全日本ノルディックスキークンコンバインドチームの名寄合宿が、平成28年12月20日から25日まで行われた。加藤大平選手やソチ五輪銀メダリストの渡部暁人選手などのワールドカップ遠征中のメンバーも合宿参加のため一時帰国した。

加藤選手に現在の状態を聞くと「3月に右膝を手術した。夏場のトレーニングが十分にできず体がイマイジどおりに動かず成績が残せていないが、シーズン後半に向けてしっかり調整していく。」と話し、合宿期間中はジャンプの精度を上げるのと、距離でのスピードアップを目標にトレーニングを行った。



全日本コンバインド名寄大会

渡部暁人選手などワールドカップ遠征組が参戦することとなった12月25日開催の今回の大会で加藤選手は、「生命線のジャンプに浮き沈みがあるが、ジャンプがうまくいけば世界でも上位に食い込める。合宿中にきつかけをつかんで後半のワールドカップに挑み、しっかり結果を残したい。」と話す。

遠征での疲れは残っていると飛躍では90mのK点ジャンプを跳び8位につけ、後半距離では最後まで2位争いをした。「仕掛けるのが早かった。内容も全然ダメ。」と悔やんでの5位フィニッシュ。



「現在も日本代表チームの主戦として活躍している加藤選手は、ケガの影響と若手の台頭もあり今シーズンが正念場と話す。
ガンバレ！加藤大平選手！」